

総合計画審議会 第2回建設環境部会（1/27）10:00～12:20

- 1 日 時 平成23年1月27日（木）10:00から12:20
- 2 場 所 上灘公民館 研修図書室
- 3 出席者 岡野委員（部会長）、永山委員（副部会長）、由田委員、安田委員、福田委員、
衣笠委員、山榊委員
欠席 坂根委員
事務局 総合政策室 向井企画員、木藤主任
建設部 早田部長
水道局 景山局長
環境課 安田次長、吉川係長
総務課 矢吹課長
市民参画課 大西室長（市民生活相談室）

4 内容

- (1) 開会
- (2) あいさつ 岡野部会長
- (3) 協議事項

<基本構想 基本目標4> 事務局説明

山榊委員）説明の中で、心の豊かさという表現があった。心の豊かさ、ゆとりといった文言を入れてもよいのではないか。

事務局）構想全体で表現している。

基本目標4

<施策1、2> 事務局説明

山榊委員）自然・居住・産業がバランスよく、と書いてある。種類の違うものがバランスよく重なり合ってまちをつくるという印象を受けるが、内容をみると、ゾーンに分けてという内容である。

事務局）市全体をみて、バランスよくゾーニングしていくという考え方。

由田委員）ゾーンなのか、市街地のバランスか、説明が不十分に感じる。

山榊委員）施策6で住環境のことが書いてある。イメージの差か。

永山委員）土地利用のゾーニングはわかるが、ゾーンが機能的に結びついた全体像の説明がほしい。実際はゾーニングしても難しいところがある。

山榊委員）バランスよく調和したという表現と内容が一致しない。ゾーンを分けて開発していくという内容。

由田委員）市域全体という言葉を入れると分かりやすくなる。また、田園集落ゾーンに、各地区の実態に応じた、とあるが、地区ごとに地域計画を策定しないこととなると、どのような形で地区の実態を把握や声を聞いていくのか。

岡野委員）地区からの要望になるのか。

安田委員）6次総から10次総まで地域計画を作っていた。無くなると、地域をどうするのが見え

ない。総花的で、具体的なものがない。

由田委員) 現状と課題で整理してはどうか。地域計画をやめることによる文言の説明がいる。

事務局) 地域の実態把握は要望もあるが、地区振興協議会、自治公民館連絡協議会と情報交換を十分にしていく考え。

由田委員) その際に、声の大きなところいきがちなので、地域が不安になる。

事務局) ここだけの課題ではなく、全体の課題。地域計画がなくなって、市民からの声をどう聞き取るか。地域は13地区が基本になると思うが、全体的にどう取り入れるかだと思う。総合部会で出していきたい。

永山委員) 地区が基本か。

事務局) そうです。

岡野委員) 行政のほうから、地区から聞くことが必要。

由田委員) 地域計画があり、地域の人も主体的に関わってもらうためには自らが主体というものだったが、地域が主役、が希薄になっている。これを補う11次総はどうするのか。

事務局) 13地区は小学校区がベース。地域と市の双方向の意見交換が大事。地域計画がなくなっても片側にはならない。

永山委員) 市政運営のやり方の転換期だと思う。ハワイのホノルルでは、職員が地域に入り、地域の計画と一緒に作っている例がある。

安田委員) これまでの地域計画も職員が入って作ってきた。無くなると地域の思いはどう行政に伝えるのか心配。

事務局) 行政経営の方針の施策7で、双方向の公聴で対応したい。

<施策3、4、5> 事務局説明

由田委員) 現状値と目標値はいつ入るのか。

事務局) 次回の部会にはお示しする予定。

由田委員) 目標値を説明できるようにしてほしい。バス路線を1市4町で協議していると説明があったが、中部地域と市で整合させないといけない。整理ができていない中で、現状と課題が把握できるのか。根拠ある数値、整合性のある数値になるよう注意してほしい。また、毎週水曜日のノーマイカーデーで市職員もバス利用すべき。

事務局) 交通アクセスにおいて、なかなか利用が進まない。市民も同じ状況。様々なアクセスを検討していく必要がある。高齢者の移動手段の確保が課題だと思っている。

安田委員) 施策3に県道倉吉環状線とあるが、イメージはどうか。

事務局) 打吹山の南側の整備についてのことだと思う。イメージは持っているが、必要性の検討が必要だと思う。

永山委員) 東京の中央線沿いは、駅から市内を循環バスが走っている。ループ構想はあるか。

事務局) 循環バスに取り組む動きはあるが、採算が課題。また、乗り換えが必要になる。

事務局) 循環バスの検討は過去からされてきた。走らせたこともあるが、利用者がなかった。

永山委員) 自動車を規制することはどうか。

事務局) なかなか難しい。

衣笠委員) バスの利用が少ない。中学生も乗らないため乗り方が分からない。関金では路線が少なくなるのではないかと。乗り換えで運賃が上がるのでは、負担が増してしまう。夏は遅くまで部活があ

り、帰宅時にバスがない。

事務局) 採算のこともあり、また、倉吉内にある2社のバス会社の意向もある。

安田委員) 鉄道とバスの連携が取れていないのではないか。

山柁委員) 生活バス路線ネットワーク化について。ネットワーク化とは何か。

事務局) 検討中であるが、大型バスだけでなく、小型、乗り合いタクシーなどの組み合わせること。

由田委員) 関金でバスを降りても、NPOで家まで運ぶとかの体制づくりに市役所が支援するなど力を入れるべき。地域がどういう役割を果たせるか考えていく必要がある。明文化できればいいが。

事務局) バス会社2社に対して巨額の補助金を出している。市内のバス路線で黒字なのは駅から西倉吉間だけで、他は赤字という状況。

永山委員) 調査をしたことがあり、鳥取と米子では目的地との往復移動が中心であったが、中部地区ではいろいろなところに移動しているという結果であった。中部地区は全体としてネットワークを考える必要がある。インターシティーバスの考えはあるか。

事務局) シャトルバスがあるのは、岡山便、鳥取空港便ぐらい。採算に乗らないのが課題。

<施策6> 事務局説明

岡野委員) 空き家が多くなっている。市で情報交換の場を作ってはどうか。

事務局) 空き家バンクがあり、宅建協会と協定しておこなっている。現在3件の登録があり、これまでに2件の実績がある。

岡野委員) PRが足りない。

山柁委員) 空き家バンクの取り組みを記述してはどうか。→【住宅】に記載済み

福田委員) 空き家が増えて困っている。草刈などの管理が公民館の仕事になりつつある。

<施策7、8、9> 事務局説明

永山委員) リフューズが入ってよくなった。一時、関西からのごみが鳥取に持ちもまれた時があったが、倉吉ではどうか。

事務局) 産業廃棄物のことだと思うが、特にはない。

由田委員) 林業について。林業の振興と森林保全は一体のもの。基本目標1施策1で農林業と書いてあるが、農業のことしか書いていない。林業が衰退すると山が荒れる。林業の振興はどうとらえるか。

事務局) 林業施業の合理化に向けた条件整備を～に保全とともに入れている。

由田委員) 基本目標1施策1に書かれていない。

事務局) 検討します。

永山委員) 松くい虫ではなく、酸性雨で松が枯れているとも聞く。データを持ってないか。

事務局) 持っていない。

永山委員) 環境問題と農業の問題をどう考えるか。環境問題と農薬の関係はどうか。ゴルフ場など。

事務局) 農業に関するデータはない。ゴルフ場の検査は県がやっているが、倉吉の向山にあるゴルフ場は問題ない。

永山委員) 倉吉市は減農薬でやっていく、ということにはならないか。

事務局) 倉吉はかなり減農薬でやっている。減農薬でつくったら指定を受け、嵩上げとなる。農薬が多いと出荷できない。

永山委員) 水と緑とブトのまち、といわれるが、ブトはどうにかならないか。

事務局) 関金スポーツ広場、倉吉テニスコートなどでブトが多い。ブトは水のきれいなところに発生すると聞くが、手立てはない。

由田委員) 環境の教育はどこかに書いてあるか。

事務局) 施策9の現状と課題に、こどもエコクラブについて記述している。

衣笠委員) 水質検査では、おおむね良好となっているが、魚が少なくなっていると聞く。

事務局) 治水のために堰堤をつくる。魚道もつくるが、そのあたりが影響しているかもしれない。

<施策10、11、12> 事務局説明

由田委員) 災害危険箇所について。市全体から見た重要性・緊急性とあるが、「市全体から見た」とはどういう意味か。危険レベルが高く受益者が少ない箇所よりも、危険レベルが中程度で受益者が多い箇所を行政は整備しがち。

事務局) 市全体から見た、は誤解を招くので削除する。

岡野委員) 自主防災を立ち上げている。市全体で100%になるよう、市として取り組んで欲しい。また、悪徳商法について。車で来て、逃げてしまうことがある。取り締まりができないか。

事務局) 事前にわかれば、公民館長に情報提供することはあるが、ちゃんとしている業者もあり判断が難しい。

事務局) 市役所に情報が来るときは、事後の情報しかない。広報では、例えば、「倉吉市水道局が訪問販売することはありません」、といった情報提供しかできない。

永山委員) 学校の周辺の安全確保はどのような取り組みがあるか。変質者情報マップや子ども110番などをやっているところがある。

事務局) 子ども110番はやっている。また、登下校時に立ち番をしたり、時間にあわせてボランティアと一緒に登下校するなどのパトロールがある。変質者のマップ、危険箇所のマップも作成しているところがある。

安田委員) 自主防災組織は100%になることが必要。防災は心構えや訓練が大事。連携しながら訓練をするとあるが、倉吉市独自でも訓練をするべき。モデル地区をつくり、年1回でも。

事務局) 自主防災組織の組織率は、現在62% (137公民館/222公民館)。助成制度を含め、取り組んでいきたい。

由田委員) 雪も災害。文字を入れてはどうか。

<次回の日程調整>

2月1日(火) 15:00から上灘公民館で開催することとなった。

12:20